

YA21212

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	前期	基本	財務会計論	濱本道正	15	2

授業の目的

この授業では、経済のグローバル化・情報化に即した財務会計のあり方について、理論と応用を融合させながら講義する。理論面では、経済社会のインフラとされるディスクロージャー制度を支える会計基準と、その基礎をなす会計諸概念の体系に関する知識の習得を目的とする。応用実践面では、金融商品・退職給付・減損処理・資産除去債務など、会計基準の国際的統合化の中で新たに制度化された会計処理への割引キャッシュ・フロー法の適用を取り上げ、Up to date な知識と計算技法の習得を目指す。併せて、表計算ソフト等を用いたデータ分析により IT リテラシーの向上を図る。

授業の到達目標

受講生が、①現代ビジネス社会のインフラである財務会計制度の基礎に横たわる会計公準および概念フレームワークの体系を知ること、②グローバル化時代の新たな会計問題に適用される割引キャッシュ・フロー法の仕組みを習得し、実際の財務データと表計算ソフトを用いて計算操作ができることを、到達目標とする。

履修条件

簿記の基礎を習得済みで、中小規模の製造企業の財務諸表を読んで理解できるレベルを前提とする。

授業計画

回	授 業 内 容	日 程
1	【財務会計の機能と制度】 ガイダンスとして、現代の財務会計は株式会社制度や証券市場制度を円滑に営むために不可欠のインフラストラクチャーとなっていることを説明する。併せてグローバル化時代の会計基準の役割を正しく把握し、それを踏まえて受講生各自の問題意識を深めてもらう。	4月4日(日) ②11:10-12:40
2	【財務会計の基礎概念の体系】 会計公準および概念フレームワークに基づいて会計基準を設定するプロセスについて考察する。近年の会計基準の国際的統合（コンバージェンス）の中で概念フレームワークの重要性が高まっていることを理解する。	4月11日(日) ②11:10-12:40
3	【財務会計の目的と会計情報の要件】 現代の財務会計の基本目的には、意思決定のための情報提供と契約支援のための利害調整の2つがあることを理解する。この会計目的から、会計情報が備えるべき要件（質的特性）として、意思決定有用性と信頼性の2つが導かれることを理解する。	4月18日(日) ②11:10-12:40
4	【財務諸表の構成要素】 財務諸表の構成要素として、「投資のポジション」を表す資産・負債・純資産・株主資本と、「投資の成果」を表す包括利益・純利益・収益・費用の8要素を定義して、それぞれの意味を講義する。	4月25日(日) ②11:10-12:40
5	【包括利益と純利益の関係】 どの会計主体観（親会社説か経済的単一体説か）を採用かによって、包括利益と純利益の関係がどのように変化し、結果として、親会社株主持分と非支配株主持分への利益の帰属関係がどのように変わるかを研究する。	5月9日(日) ②11:10-12:40
6	【財務会計における認識と測定】 資産と負債に関する測定値が企業の投資とどのような関連を持つのか、また、収益と費用の認識・測定では、企業の投下資金がいつ投資のリスクから解放されるのかに着目すべきことを学ぶ。	5月16日(日) ②11:10-12:40
7	【財務会計における混合的測定の体系】 現行の会計基準では、資産の種類や性質によって評価方法を区分する「混合的測定」が採用されていることを理解する。事業投資と金融投資で異なった評価基準（原価と時価）が適用されるのはなぜか、について研究する。	5月23日(日) ②11:10-12:40
8	【顧客契約モデルによる収益認識】 国際会計基準（IFRS15号）を我が国に導入した「収益認識に関する会計基準」に基づいて、契約と履行義務の識別、取引価格の算定と配分、履行義務の充足による収益の認識という会	5月30日(日) ②11:10-12:40

	計処理プロセスの内容と特質について研究する。	
9	<p>【特殊な販売契約の会計】 買戻契約、返品権付き販売、財・サービスに対する保証、本人と代理人の区分、ライセンスの供与、有償支給取引など、新基準で導入された「特定の状況における収益認識」のスキームと会計処理について研究する。</p>	6月6日(日) ②11:10-12:40
10	<p>【割引キャッシュ・フロー計算の仕組み】 最近の会計基準では、将来キャッシュ・フローを割引いて資産や負債の現在価値を求めるケースが増えている。DCF法や割引現在価値法とも呼ばれるこの新しい測定方法の仕組みを理解し、以下の具体的な会計問題に応用できるようにする。併せて、表計算ソフト等を用いたデータ分析により IT リテラシーの向上を図る。</p>	6月13日(日) ②11:10-12:40
11	<p>【金融商品会計】 金融商品（金銭債権・債務や有価証券）の測定に割引キャッシュ・フロー法を適用する場合の基本形が「利息法に基づく償却原価法」である。社債の発行・利払い・償還という一連の取引を、発行側と投資側とで利息法に基づいてどのように計算すべきかを学ぶ。</p>	6月20日(日) ②11:10-12:40
12	<p>【リース会計】 リース資産・負債の測定に割引キャッシュ・フロー法が適用されるのはなぜかを理解し、借り手と貸し手の各サイドから、財務データを用いて計算する手法を習得する。</p>	6月27日(日) ②11:10-12:40
13	<p>【減損会計】 減損処理は臨時償却とどう違うのかを理解しうえて、減損損失の測定に割引キャッシュ・フロー法はどのように適用されるのかを、具体例により学ぶ。</p>	7月4日(日) ②11:10-12:40
14	<p>【退職給付会計】 退職給付債務の測定における割引計算の考え方を理解し、過去勤務費用と数理計算上の差異の処理法を設例により習得する。</p>	7月11日(日) ②11:10-12:40
15	<p>【資産除去債務会計】 資産除去債務の会計処理法である「資産負債の両建処理」の考え方を理解し、除去債務と除去費用の測定に割引キャッシュ・フロー法はどのように適用されるかを、財務データを用いて計算する手法を学ぶ。</p>	7月18日(日) ②11:10-12:40
試験	レポート	

使用教科書／評価方法等

教科書	『財務会計講義』桜井久勝著 中央経済社 (第20版以降の版)
参考書	講義中に指示する
評価方法	レポート70%、出席を含む授業への貢献度など30%
その他	